

シリーズ：子どもの権利 No. 40 市長対談～子ども会議の委員からのお願い～

3月12日、子ども会議の1年間の活動を竹中市長に報告しました。今年は、何と云っても子ども企画で行った「空き缶ハロウィン」がメインの活動です。しかし、これはハロウィンが目的ではなく、空き缶をリサイクルして、その収益で公園の花を買うことが目的でした。この日、子ども会議の委員から、小さな桜の木を市長に寄贈しました。花が咲き終わったら、一緒に公園に植樹する予定です。いつか大きな木になって、桜が満開になればと、子どもたちも楽しみにしています。今回、子ども企画のイベントを実施した中で、子どもが考える子ども参加企画イベントの秘訣を、皆さんにお伝えします。ぜひ、子どもたちと家庭や学校、地域で楽しい企画を実現していただきたいと思います。

さて、5月からはせんなん子ども会議の4年目の活動が始まります。申込みをお待ちしています。

【問合せ】 泉南市子どもの権利に関する条例事務局
(人権教育課 ☎ 483-3672 / FAX483-7306 / e-mail:
jinkenkyouiku@city.sennan.lg.jp)

子どもが考える 「子ども参加イベント」の秘訣 ～おとなの方へ6つのお願い～

- ①**基本は子ども！子どもを信じて**
できることは任せてほしい
子どもが出来ることまでおとながやってしまうと、
子どものためにならないから
- ②**「あれしなさい」「これしなさい」と命令するのはやめてほしい**
自分たちで考えることが楽しいから
- ③**「この子は〇〇な子」と格付けしないでほしい**
ちょっとした言葉で嫌になるし、悲しくなるから
- ④**子どもの意見をすぐに却下しないでほしい**
話すことが楽しくて、話すうちに発見することもあるから
- ⑤**話をしっかり聞いてアドバイスしてほしい**
子どもだけでできない事も、一緒に考えてほしいから
- ⑥**もしもの時、危ない時、子どもではできない時には、子どもを助けて支えてほしい**
だって、安心して活動をしたいから